

令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	都市デザイン部
部(局)長	森本 貞男

【基本姿勢】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について、災害に強いまちづくりを実現するための日常の維持補修による安全確保等だけでなく、計画的な維持補修や長寿命化及び耐震化に取り組み、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地については、自然に親しむ場にするとともに、災害時の一時避難にも利用できるよう、安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上を図るために必要なインフラ整備を促進します。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の安全意識の高揚を図るため、啓蒙活動の充実を図ります。

【達成度について】

A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)

B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)

C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)

D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)

E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	住宅・建築物の耐震化の促進	B
2	都市基盤の整備計画の推進	A
3	効果的・効率的な道路整備の推進	B
4	交通安全対策の推進	A
5	計画的及び効果的な維持補修の推進	A
6	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全・安心な公園、広場とするための維持管理	B
7	空家等の適正管理の推進	A

部名	都市デザイン部
----	---------

重点課題 1	住宅・建築物の耐震化の促進
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模な地震から市民の生命・財産を守るため、住宅・建築物の耐震化を促進します。
---------------------	---

活動目標
耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度を実施し、耐震化の支援に努めます。
建物所有者に耐震化に対する理解を更に深めて頂くよう個別訪問等を実施し、耐震化の普及啓発に努めます。

具体的な取組実績
耐震化の支援として、耐震診断22戸、耐震改修（補強設計含む）3戸、除却20戸、ブロック塀等撤去12件について補助を実施いたしました。
普及啓発として、広報誌への掲載、啓発チラシのポスティング、個別相談会を実施いたしました。

達成目標
前年度より、耐震診断、耐震改修、除却、ブロック塀撤去の補助制度の利用者の増加を目指します。

達成状況	達成度
前年度との比較では、耐震診断は5戸増、耐震改修は増減なし、除却は4戸増、ブロック塀等撤去は3件減となりました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
補助制度の利用件数について、ブロック塀等撤去補助は前年度を下回る結果となりましたが、耐震診断補助、耐震改修補助、除却補助は前年度以上の結果となり、総数についても目標達成となりました。補助制度の利用者が増加するよう、普及啓発に努めるとともに、制度の見直しについても検討を行いたいと考えます。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 2	都市基盤の整備計画の推進
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	良好な市街地の形成と利便性の向上や交通渋滞の解消を図ります。
---------------------	--------------------------------

活動目標
国道25号の渋滞解消や、地域の利便性の向上などを目指したスマートインターチェンジの設置に向け、西名阪自動車道周辺地区について調査を行います。
国道25号の慢性的な渋滞により発生する地域の課題を整理し、国へバイパス整備の必要性などを訴えかけるため、検討を行います。
柏原駅東地区の交通問題の解消と効果的な土地利用を目指すため、地区構想の策定に向けた交通量調査を行います。

具体的な取組実績
スマートインターチェンジの構造の可否についての検討を行うため、西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施しました。
国道25号の渋滞緩和などを図るため、国道25号のバイパス整備の必要性の検討を行い、国に対し要望活動を実施しました。 また、バイパスの早期事業化及び整備の促進を目的に、令和2年12月24日に、「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しました。
コロナ禍の影響により、正確な交通量の把握が困難だったため、令和2年度での実施を取りやめました。

達成目標
西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施することで、スマートインターチェンジの構造の可否について検討できます。
国道25号の渋滞を避け生活道路を通過する車両の流れや事故の件数などについて調査・検討し、課題の抽出を行い、八尾市と連携を図りながら、バイパス整備の必要性について国に対し要望を行います。
府道大泉本郷線の開通前の柏原駅周辺地区の交通量調査を行うことで、道路網の検討に向けた基礎データの整理ができます。

達成状況	達成度
西名阪自動車道周辺地区の測量や概略設計を実施し、スマートインターチェンジの整備について、構造上設置が可能であることが確認できました。	A 達成
八尾市と連携し、国道25号の慢性的な渋滞により発生する地域の課題を整理し、バイパス整備の必要性について国に対し要望を行いました。 また、沿線自治体である大阪市・八尾市とともに「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しました。	A 達成
コロナ禍の影響により、正確な交通量の把握が困難だったため、令和2年度での実施を取りやめ、令和3年度に実施いたします。	

総合評価・総括

西名阪自動車道のスマートインター整備につきましては、令和2年度に実施した調査業務において構造上設置可能であることが確認できました。

国道25号の渋滞対策につきましては、「国道25号大阪柏原バイパス整備促進期成同盟会」を設立しましたので、今後は期成同盟会の活動を軸に国への要望を積極的に行ってまいります。

なお、コロナ禍の影響により実施できなかった「柏原駅周辺地区の交通量調査」については、令和3年度に実施いたします。

※ コロナ禍の影響により実施できなかった「柏原駅周辺地区の交通量調査」に係る達成度については、評価はしていません。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 3	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度

B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路整備や改良により、円滑な交通及び通行の安全性を確保するとともに、歩行空間のバリアフリー化を目指します。
---------------------	---

活動目標
上市法善寺線は、都市計画道路大県本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通環境を確保するため、接道交差点部の整備に必要な用地取得、工事を進めます。
雁多尾畑地区の交通の安全や農業振興を目的に、整備が完成した市道畑信貴線に引き続き、接道している信貴太平寺線の整備を図るため、工事を進めます。
平成31年3月に策定しました柏原市バリアフリー基本構想（堅下駅・法善寺駅周辺地区）における駅や生活関連経路のバリアフリー化の測量設計を進めます。

具体的な取組実績
上市法善寺線の道路整備に必要な用地確保に向け、用地測量や不動産鑑定評価業務に取り組みとともに用地交渉を進めています。 また、道路整備工事に取り組んでいます。
コロナ禍の影響により、工事発注が困難であったため、発注に遅れが生じ、工事期間が年度内に収まらないため、事業計画を見直し、令和2年度での実施は行いませんでした。
柏原市バリアフリー基本構想に基づき、堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化について、事業主体である近畿日本鉄道と協議し、測量設計を進めました。

達成目標
接道交差点部の整備を行うことで、安全で円滑な交通環境及び市民の安全・安心が確保できます。
信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から里山公園へのアクセス路になります。
堅下駅、法善寺駅や周辺施設への生活関連道路において、誰もが利用しやすい環境となるバリアフリー整備の推進が図れます。

達成状況	達成度
道路整備に必要な用地確保について、土地開発公社より1件の買戻しを行いました。 また、延長110mにおける歩道設置及び車道部の舗装工事が完了しました。	C 一部達成
コロナ禍の影響により事業計画を見直し、令和2年度での実施は行わず、令和3年度に実施いたします。	
堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化の測量設計を行いました。来年度より工事に着手いたします。	A 達成

総合評価・総括

上市法善寺線は、東側の110mにおいて、歩道及び車道が完成しました。大阪府が事業中である都市計画道路大泉本郷線との供用開始に合わせ、交通の円滑化、通学路の安全確保などの事業効果を早期に発揮する必要があると考えます。

信貴太平寺線は、計画の見直しにより、来年度より工事に着手し、計画的に進捗を図ってまいります。

堅下駅・法善寺駅のバリアフリー化事業は、事業主体である近畿日本鉄道と令和3年度より工事に着手するよう協議を行っています。

※ コロナ禍の影響により実施できなかった「信貴太平寺線整備事業」に係る達成度については、評価はしていません。

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 4	交通安全対策の推進
--------	-----------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>①通学路の安全・安心の確保のため、点検を継続的に実施するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善及び充実を図ります。 また、これらの取組を「PDCA」サイクルとして繰り返し実施し、通学路等の安全・安心の確保及び向上を図ります。</p> <p>②柏原市内において、交通事故ゼロ、また、自転車等放置禁止区域において、自転車等の放置台数ゼロを目指し、啓発活動に取り組んでいきます。</p>
---------------------	--

活動目標
令和元年度に策定した交通安全総合整備計画に基づき、関係機関と協議し、令和2年度の対策箇所について、詳細設計を行うとともに、整備工事を進めます。
交通安全キャンペーン、ホームページ、フェイスブック、市広報誌等を活用した啓発活動や、市内保育所、幼稚園、小学校等において交通安全教室の実施、また、放置自転車対策として、放置自転車等街路指導などを行います。

具体的な取組実績
交通安全総合整備計画に基づき、関係機関と協議し、優先順位が上位の4小学校区において詳細設計を行い、その後、3小学校区においてグリーンベルトや交差点カラー化などの路面標示工事に取り組みました。 なお、1小学校区は来年度にグリーンベルトや交差点カラー化などの路面標示工事に取り組みます。
コロナ禍でキャンペーンや交通安全教室等の啓発活動の実施が困難でありましたが、ホームページ・広報かしわらを活用し、交通安全啓発に努めました。 放置自転車対策としては、街路指導等啓発活動を強化しました。

達成目標
対策工事を行うことで、通学路等の安全・安心の確保が図れます。
市内交通事故発生件数の減少、また、放置自転車等の撤去台数の減少を目指します。

達成状況	達成度
通学路において、グリーンベルトによる歩行空間やカラー化された交差点が明確となり、安全・安心の向上、確保が図られました。	A 達成
交通事故発生件数につきましては、昨年と比較し、37件減少しました。また、放置自転車等の撤去台数につきましては、昨年度と比較し、66件減少しました。	A 達成

総合評価・総括
<p>策定しました交通安全総合整備計画に基づき、残りの小学校区においても、計画的に整備を進めていき、整備後における効果の把握も行う必要があると考えます。</p> <p>また、路面標示などのハード対策とキャンペーンや交通安全教室などのソフト対策が連動することにより、交通安全に対する大きな事業効果を期待しています。</p>

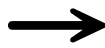
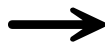
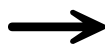
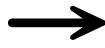
部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 5	計画的及び効果的な維持補修の推進
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょう等の維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化や破損個所の緊急的な補修対応により、通行の安全確保や利便性の向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋は、柏原市地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心のため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事を行います。
道路の舗装・維持補修については、舗裝修繕計画に基づき、計画的な補修を行います。 河内国分駅東口の横断歩道橋については、路面や階段などの損傷が進行していることから、横断歩道橋の長寿命化修繕計画に基づいて、補修工事を行います。
近年、気候変動により、夏場は酷暑が続いていることから、大阪府の「都市緑化を活用した猛暑対策」の補助金制度を活用して、河内国分駅東口駅前広場の市内循環バスの停留所において、真夏の猛暑の中で、バスを待たれる方に、少しでも涼しさを感じていただけるように、駅前広場猛暑対策工事を行います。
点検パトロールや市民の方からの通報により、道路面、道路肩の破損、陥没等を発見、または確認した場合は、事故発生防止のため、緊急的な補修等を行うなど、迅速に対応を行います。



具体的な取組実績
一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋につきまして、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕と大規模地震に備えた橋脚の耐震補強工事を行いました。
道路の舗装・維持補修については、舗裝修繕計画に基づき、市道石川東線の舗装補修工事を行いました。 また、河内国分駅東口の横断歩道橋については、路面や階段などの損傷が進行していることから、横断歩道橋長寿命化計画に基づき、令和2年度より補修工事に着手し、通路面の補修や排水管取替え工事を行いました。
駅前広場猛暑対策工事については、大阪府と「都市緑化を活用した猛暑対策」の補助金について協議を重ねた結果、2箇所分の補助金を確保できたことから、この補助金を活用し、河内国分駅東口駅前広場とJR柏原駅西口駅前広場の市内循環バスの停留所2箇所、真夏の猛暑の中でバスを待たれる方に、少しでも涼しさを感じていただけるように、遮熱性の日除けや微細ミストの発生装置の設置などの猛暑対策工事を行いました。
点検パトロールや市民の方からの破損等の通報に伴い、現地確認や調査を行い、通行の安全確保を最優先に考え、補修工事を行いました。2月末時点で約100箇所の道路面や道路肩等の補修を実施しており、今後も迅速な対応を行います。

達成目標	達成状況	達成度
<p>国道25号から国分寺大橋を渡り本堂高井田線青谷交差点に繋がる東条青谷線は、柏原市地域防災計画において、地域緊急交通路に指定されており、国分寺大橋の耐震補強を行うことで、大規模災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。</p>	<p>国分寺大橋は、一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。 4工区として、昨年度に発注しました下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事が完了し、また5工区として、下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事に着手し、早期の完成を目指します。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>道路の舗装においては効率的な舗装維持管理の実施により、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。 河内国分駅東口の横断歩道橋の補修工事を行うことにより、歩行者の安全な通行が確保できます。</p>	<p>道路の舗装補修については、舗裝修繕計画に基づき、市道石川東線の道路補修工事を行ったことにより、安全で円滑な交通環境の確保、市民の安全・安心が確保できました。 また、河内国分駅東口の横断歩道橋においては、損傷が進行していた通路面や排水管の補修工事を行ったことで、歩道橋の通路面がきれいになり、そして、利用される歩行者の安全な通行を確保できました。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>今年度、河内国分駅東口の駅前広場猛暑対策工事を行うことで、夏場の猛暑時には、その対策により、涼しさを感じていただけるようになり、駅前広場の快適性の向上が図れ、熱中症の発症リスクを軽減できます。</p>	<p>河内国分駅東口の駅前広場、及びJR柏原駅西口の駅前広場の市内循環バスの停留所において、猛暑対策工事を行ったことにより、令和3年度の真夏の猛暑時には、その対策により、涼しさを感じていただけるようになり、快適性の向上が図れ、熱中症の発症リスクを軽減することに繋がるものとなります。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>
<p>道路の破損等について緊急的な補修等を行うことで、車両及び歩行者の安全な通行が確保できます。</p>	<p>緊急的に補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全を確保しております。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">達成</p>

総合評価・総括
<p>道路、橋りょう等の維持管理については、「舗裝修繕計画」、「橋りょう長寿命化計画」及び「横断歩道橋の長寿命化計画」に基づき、今後も計画的な維持補修に取り込んでいきます。 また、日常のパトロールや市民からの通報等による道路の破損等については、迅速に対応し、通行の安全性の確保や利便性の向上を図っていきます。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 6	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と快適で安全・安心な公園、広場とするための維持管理
--------	---

全体の達成度

B

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園、広場、緑地については、安全で快適な地域のインフラとして、地域住民の皆様にご愛着を持っていただくとともに、市民の皆様にとって憩いとやすらぎをもたらし、また、交流が生まれる場となるように目指します。
---------------------	--

概ね達成

活動目標
緑地や公園などにおいて、市民の方々との協働による草花の植栽などを呼びかけ、みどり豊かなまちづくりを進めます。
市立玉手山公園においては、老朽化の著しいトイレの改修や園内の案内マップ看板の更新、並びに展望台のパノラマ看板の更新などを行います。 また、市内の公園においては、経年劣化が進行している大正公園の遊具の修繕工事を行うなど、公園の維持管理として、遊具施設の点検及び補修並びに樹木の剪定などを行います。

具体的な取組実績
広報誌による季節の花苗配布の呼びかけを行い、地域への花苗配布を実施しました。(春：コロナ禍の影響により中止、秋：3,080株・26団体) 協働緑地でも、市民と協働で草花の植栽等を年間7回実施しました。
市立玉手山公園トイレの改修及び園内案内マップ看板、展望台パノラマ看板の更新は、コロナ禍の影響により財源となる大阪府の補助金事業に影響があり、実施できませんでした。なお、経年劣化の進む複合遊具等の修繕を行ったほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ちびっこゲレンデでは、安全防具を使用の都度消毒するよう取り組みました。 市内公園については大正公園の遊具修繕を行なったほか、ベンチ、テーブル等の修繕や遊具点検(102公園、317基)、砂場殺菌(34箇所)、樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(13箇所)大和川河川敷芝生管理等を実施しました。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発看板の設置や広報車によるアナウンス等の啓発活動を行いました。



達成目標	達成状況	達成度
<p>公園や緑地において、地域の方々との協働で、草花の植栽によるみどり豊かなまちづくりを進めることで、地域の皆様に憩いとやすらぎをもたらし、また、地域に密着した公園の草抜きやごみ拾いなどの簡易な清掃作業を呼びかけることにより、地域住民に愛着を持っていただける公園、広場、緑地となります。</p>	<p>季節の花苗配布では、多くの団体に草花の植栽をしていただきました。地域に密着した公園は、地域住民に愛着をもっていただける公園になるよう、草抜きやゴミ拾いなどの簡易な作業については、地域の方々との協働による維持管理を呼びかけて、ご協力を頂いておりますが、地域の方々の高齢化などの課題もあります。このような状況の中で、今後も地域住民に愛着を持っていただけるように、子育て世代などの若年層にも協力してもらえよう働きかけてまいります。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">概ね達成</p>
<p>市立玉手山公園においては、トイレの改修や園内の案内マップ看板の更新を行うことで、快適に、また、安全に安心して利用していただけます。</p> <p>また、市内の公園においては、大正公園の遊具の修繕など、公園施設の点検及び補修、樹木の剪定などを行うことで、安全・安心な公園として、市民の方々に安全に、快適に利用していただき、憩いとやすらぎをもたらし、また、交流が生まれる場となります。</p>	<p>市立玉手山公園においては、コロナ禍の影響により、トイレの改修及び園内案内マップ看板、展望台パノラマ看板の更新は、実施することは出来ませんでした。園内の経年劣化の進む複合遊具等の修繕を行うことや、コロナ禍においてちびっこゲレンデの安全防具の消毒対策を整えたことで、安全に利用していただけるように取り組みました。</p> <p>また、市内の公園においては、大正公園の遊具の修繕のほか、市内各公園の定期的な日常点検とともに、遊具やベンチの修繕、草刈清掃、あるいは樹木の剪定、危険木の伐採などにより安全に安心して利用していただき、憩いとやすらぎ、交流をもたらす場となるように取り組みました。</p> <p>なお、公園での新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発看板の設置、広報車によるアナウンス等啓発活動を行うことで、公園を安全に利用していただけるように取り組みました。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">概ね達成</p>

総合評価・総括
<p>倒木などの恐れのある高木の処理や老朽化した遊具の修繕など、緊急的な対応を迫られる事態が発生したが、限られた人員と予算の中、市内公園のパトロールを強化するなど管理水準を極端に落とすことなく維持管理を行うことができました。</p> <p>今年度予定していた玉手山公園活性化事業については、コロナ禍の影響により実施出来ませんでした。令和3年度以降の実施に向けて、取り組んでまいります。</p>

部(局)名	都市デザイン部
-------	---------

重点課題 7	空家等の適正管理の推進
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	柏原市空家等対策計画に基づき、今後も増加すると予想される空家等について、適正管理の促進に努めます。
---------------------	---

活動目標
実態調査により把握した管理不全の空家等について、啓発文書の送付や法に基づく助言・指導等を継続して行い、適正管理の促進に努めます。



具体的な取組実績
3ヶ月に1度の定期調査を実施し、管理不全と判断した空家等の所有者に対し、適正管理についての啓発文書を送付しました(計64通)。 11件に対して、空家法第12条に基づく助言を実施しました。



達成目標
管理不全の空家等の低減を目指します。



達成状況	達成度
管理不全の空家等22戸が、管理や除却によって解消されました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>啓発文書の送付や助言等を行うことにより、22戸の管理不全の空家等が解消されましたが、市内にはまだ多くの空家等が存在するため、今後も継続して空家等の適正管理の促進に努めます。</p> <p>また、新たな空家等が発生しないように、建物所有者への啓発活動を実施し、空家問題に対する意識の向上を図りたいと考えます。</p>